

CQSO（最高質安全責任者）とともに日本の患者安全を支える

EQSO（エキスパート質安全責任者）

Expert Quality & patient Safety Officer

AQSO（アドバンスト質安全責任者）

Advanced Quality & patient Safety Officer

養成事業

募集要項

第5期(2026年度)



国立大学法人東海国立大学機構

名古屋大学医学部附属病院

患者安全推進部

**CQSO（最高質安全責任者）とともに日本の患者安全を支える
EQSO（エキスパート質安全責任者）・AQSO（アドバンスト質安全責任者）養成事業
募集要項**

1. 事業目的

CQSO（最高質安全責任者）と高いレベルで連携し、患者安全に貢献できるエリート人材を養成します。対象者は GRM（医療安全管理者）、もしくは今後 GRM として勤務する予定がある医療関係者（医師・歯科医師以外）・事務担当者です。

2. 事業のねらい

患者安全活動の発展に伴い、GRM にはより高度で専門的な知識・技能・コンピテンシー等が求められるようになりました。また、多職種からなる複数の GRM（GRM チーム）を配置する医療機関も増えていきます。GRM および GRM チームのスキルアップは日本の患者安全の向上に直結しており、そのためのアドバンストな教育プログラムの整備や、中～長期的な支援体制の整備（上位の資格認定等を含む）が求められてきました。

患者安全の実務は、現場からの報告（インシデント・アクシデントレポート）を読み込み、適切に仕分け（トリアージ）を行う日々の取り組みや、エラーによって患者に有害事象が発生した際の取り組み（有事業務）、そのような有害事象を生まないようにするための恒常的な取り組み（平時業務）等が中心となります。成果を挙げるには、GRM、あるいは GRM チームが実務の全体像を理解し、有事・平時に求められる技能を高いレベルで発揮することが必要となります。

名古屋大学では、厚生労働科学研究費補助金事業として、2019 年より、医師・歯科医師を対象とした CQSO 養成・支援事業（CQSO プロジェクト）を展開し、本事業に先行して 6 期・47 名の修了生を輩出してきました。養成プログラムは毎年ブラッシュアップされ、2026 年 4 月現在、CQS07 期・10 名が受講中です。本事業は、CQSO プロジェクトと密に連携し、医師・歯科医師以外の GRM を対象とした、アドバンストプログラムによる人材養成事業（EQSO 養成・AQSO 養成）および支援事業となります。GRM のニーズに合わせた 5 つのコースを用意し、フルコース修了者には EQSO、その他のコースの修了者には AQSO の称号を付与します。AQSO はその他のコースを受講することで、EQSO に昇格することが可能です。修了生には継続的な支援事業が用意されます。これまでに 3 期 24 名（EQS016 名、AQSO8 名）の修了生を輩出し、2026 年 4 月現在、4 期 7 名（EQS04 名、AQSO3 名）が受講中です。

これらのプログラムは、患者一人ひとりの安全確保はもとより、リスク低減効果の可視化や、医療事故に起因する医療費の削減、業務の効率化による就労時間の短縮等を企図するものです。

3. コース概要 (5種類のコースがあります)

【EQSO (エキスパート質安全責任者) 養成・フルコース】

基盤となる知識の習得から、有事対応、平時の活動、日々の活動、問題解決コースすべての内容を網羅したカリキュラムを提供します。フルコース受講後、エキスパート質安全責任者 (EQSO) となります。

【AQSO (アドバンスト質安全責任者) 養成・日々の取り組みコース】 → 橙色

GRMが行う日々の業務内容を網羅的に学ぶコースです。基盤となる知識の習得から、主にインシデントレポートに関わる業務、医療安全にかかわる院内会議の運営などについて学びます。

【AQSO (アドバンスト質安全責任者) 養成・有事対応コース】 → 赤色

有事対応について学ぶコースです。基盤となる知識の習得から、主に、医療事故、医療過誤発生時の院内及び患者、社会への対応 (医療事故調査手法を含む) について学びます。

【AQSO (アドバンスト質安全責任者) 養成・平時の活動コース】 → 緑3

改善のための連携・分析等を学ぶコースです。基盤となる知識の習得から、主に、RCA手法、FMEA手法、平時における院内外との連携について学びます。

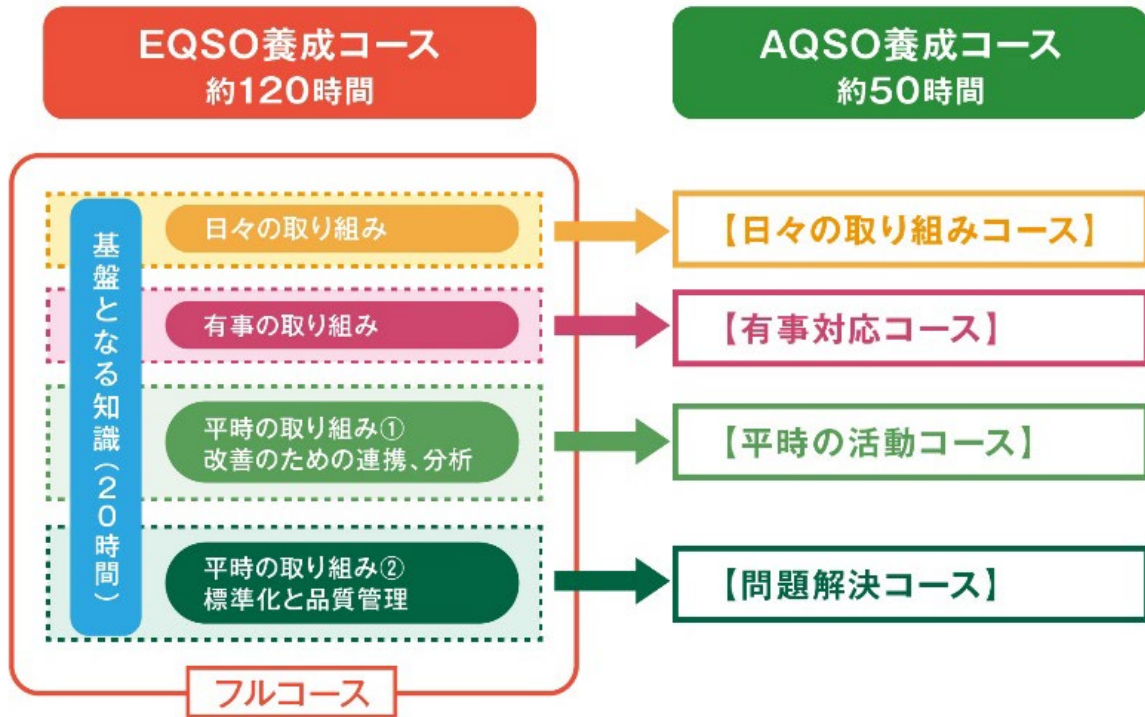
【AQSO (アドバンスト質安全責任者) 養成・問題解決コース】 → 緑4~7

産業界で用いられている品質管理手法を学ぶコースです。問題解決8ステップに沿って、自施設の患者安全上の課題に取り組みながら手法を学びます。

※コース名右の色や番号は、以下の患者安全活動のループ図の番号です



【 5 コースの関係図 】



4. 養成プログラムの主な内容

カリキュラム一覧

カテゴリー	教科目	時間	EQSO	AQSO (日々)	AQSO (有事)	AQSO (平時)	AQSO (問題)
基盤となる知識の修得	本研修が目指すもの	1	○	○	○	○	○
	医療安全施策の動向	0.75	○	○	○	○	○
	エラー発生の原因	2	○	○	○	○	○
	医療の高度化、複雑化とエラー発生	1	○	○	○	○	○
	患者安全における法的知識の整理	2.5	○	○	○	○	○
	名大病院における患者安全推進活動とJCI (Joint Commission International)	1.5	○	○	○	○	○
	基本確認行動・国際患者安全目標・対策の基本	3	○	○	○	○	○
	CQSO・医師GRMとの連携	1.5	○	○	○	○	○
	医療機器の安全管理とCEGRMへの期待	1.5	○	○	○	○	○
	薬剤師GRMの責務	1.5	○	○	○	○	○
	医療安全管理者の実際 -医療安全管理者の役割-	1.5	○	○	○	○	○
	患者の権利の確保～インフォームド・コンセント～	2	○	○	○	○	○
日々の取り組み	報告文化の活性化	2	○	○			
	インシデント・トリアージの考え方	3	○	○			
	リスク量測定	1	○	○			
	医療過誤を鑑別する	4	○	○			
	患者安全管理者の業務 患者安全推進部プレコア会議 準備	1	○	○			
	患者安全管理者の業務 患者安全推進部プレコア会議	3	○	○			
	患者安全管理者の業務 患者安全推進部コア会議	1	○	○			
	患者安全管理者の業務 ペイシエントセーフティマネジャー 全体会議 (Web)	1	○	○			
患者安全管理者の業務 多職種とのインシデント検討会 (Web)	1	○	○				
有事の取り組み	事故発生時の連携	3	○		○		
	事例の医学的判断 -場面とプロセス・分析ポイントの整理-	1.5	○		○		
	重大死亡事故発生時における医療事故該当性の判断①	2	○		○		
	重大死亡事故発生時における医療事故該当性の判断②	2	○		○		
	標準的医療事故調査手法の修得	15	○		○		
	医療事故調査の標準化に向けて						
	事例を重要な診療場面に分ける						
	ヒアリング手法						
	ヒアリング内容の抽出と実演						
	事実経緯の整理・同定						
	同定結果から事実経緯の評価						
	事件事例の総括						
	再発防止策の提案						
	患者説明・社会との共有 (説明)	2	○		○		
患者説明・社会との共有 (記者会見・まとめ)	1.5	○		○			
オープンディスクロージャー	1	○		○			
CQSO有事対応課題発表会 (聴講)	3.5	○		○			

カテゴリー	教科目	時間	EQSO	AQSO (日々)	AQSO (有事)	AQSO (平時)	AQSO (問題)
改善のための連携・分析 平時の取り組み(1)	RCA(Root Cause Analysis)手法	6	○			○	○
	患者安全に関する外部情報の活用	2	○			○	
	医療機器安全管理責任者の役割(医療機器安全管理責任者との連携)	1.5	○	○		○	
	メーカーとの連携	1.5	○	○		○	
	医薬品安全管理責任者との連携	2	○	○		○	
	院内の安全教育体制の構築	2	○				
	チームステップス(アドバンスコース)研修	1.5	○				
	FMEA(Failure Mode and Effects Analysis)手法	4	○	○		○	○
	院内救命、異常早期発見体制の構築	1.5	○			○	
	事例検討会の運営	3	○			○	
	患者安全ラウンド・監査	3	○			○	
	施設安全の重要性	2	○			○	
	IPSG.1+2研修	1	○	○		○	
平準化の取り組み(2) 品質管理	品質管理手法の修得(概論)	3	○				○
	品質管理手法の修得(実践)	3	○				○
	問題解決実践*	16.5	○				○
	問題解決実践:テーマ選定(第1回)						
	問題解決実践:現状把握(第2回)						
	問題解決実践:要因解析(第3回) Web						
	問題解決実践:要因解析/対策立案(第4回) Web						
	問題解決実践:要因解析/対策立案(第5回) Web						
	問題解決実践:要因解析/対策立案(第6回) Web						
	QI(Quality Indicator)とQI設定	1.5	○	○		○	
QI設定演習	1	○	○		○		
質向上戦略の構築	2	○	○		○		
総研修時間		126.25	126.25	51.25	51.25	51.75	52.25

カテゴリー	教科目	時間	EQSO	AQSO (日々)	AQSO (有事)	AQSO (平時)	AQSO (問題)
任意研修 希望者のみ 無料	日程・申込方法は開講後にお知らせ 患者安全管理者の業務 患者安全推進委員会(Web)	1	○	○			
オプション研修 希望者のみ 別途有料 研修費 5000円	2027年1月16日・申込方法は開講後にお知らせ 品質管理手法の修得 実践・QC七つ道具(対面)	3	○				○

5. 受講要件・応募資格

【EQSO（エキスパート質安全責任者）養成・フルコース】

下記の1)～4)の要件をすべて満たしている者

- 1) 医療関係者（医師・歯科医師以外）・事務担当者等。※医療安全養成研修の受講は問いません。
- 2) 医療安全業務に従事している、または従事予定であることが望ましい。
- 3) 所属医療機関長の推薦を得ていること。
- 4) 修了後、所属医療機関としてハブセンター事業に参画できること。

【AQSO（アドバンスト質安全責任者）養成・各コース】

下記の1)～4)の要件をすべて満たしている者

- 1) 医療関係者（医師・歯科医師以外）・事務担当者等。
- 2) 医療安全養成研修を修了していること。
- 3) 医療安全業務に従事している、または従事予定であることが望ましい。
- 4) 所属医療機関長の推薦を得ていること。
- 5) 修了後、所属医療機関としてハブセンター事業に参画できること。

6. 募集定員 10～20名程度（書類選考あり）

7. 選考基準

- 1) 所属医療機関において本研修プログラムを完了できる業務環境を調整できること。
- 2) 本研修事業の効果測定^{※1}、評価に協力できること。
- 3) 本研修修了後、所属医療機関において患者安全管理・質改善業務に主体的に従事できること。
- 4) 本研修修了後、所属医療機関としてQCO支援事業^{※2}に参画できること。
- 5) 各医療機関からの参加は、原則、各期1名までとする。
- 6) 所属医療機関長からの推薦内容を重視する。

※1 本研修事業の効果測定について

- ・研修前後など適切なタイミングで、アンケート、インタビューを実施します。
- ・適切なタイミングで、所属医療機関のインシデントレポートからリスクスコアを算出し、提出して頂きます。

※2 QSO支援事業について

- ・継続的に修了生および所属医療機関をつなぐネットワーク事業です。
- ・修了生が自らの所属医療機関において、医療におけるリスク量を低減できるよう支援します。

8. 実施機関及び会場

実施機関：国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部

会場：名古屋大学医学部附属病院 会議室等（詳細は別途連絡）

但し、場合によってはオンライン講義となる場合がある。

10月3日（土）、10月4日（日）は、テルモメディカルプラネックス®（神奈川県足柄上郡）での外部研修予定。

9. 研修期間

【EQSO（エキスパート質安全責任者）養成・フルコース 約120時間】

2026年9月15日（火）～2027年3月末

第1クール	2026年09月15日(火)～09月18日(金)の4日間
第2クール	2026年10月02日(金)～10月06日(火)の5日間
第3クール	2026年10月20日(火) Web 2026年10月27日(火)～10月30日(金)の4日間
第4クール	2026年11月18日(水)～11月20日(金)の3日間
第5クール	2026年12月15日(火)～12月17日(木)の3日間
問題解決実践	2027年02月04日(木) Web 2027年02月19日(金) Web 2027年03月15日(月) Web 2027年04月23日(金) Web
日々の取り組み教科	後日、日程通知 Web

・2027年6月12日（土）成果報告会・修了式

【AQSO（アドバンスト質安全責任者）養成・日々の取り組みコース 約50時間】

2026年9月15日（火）～2027年3月末

第1クール	2026年09月15日(火)～09月18日(金)の4日間
第2クール	2026年10月06日(火)の1日
第3クール	2026年10月20日(火) Web 2026年10月28日(水)の1日
第4クール	2026年11月18日(水)の1日
第5クール	2026年12月16日(水)の1日
日々の取り組み教科	後日、日程通知 Web

・2027年6月12日（土）成果報告会・修了式

【AQSO（アドバンスト質安全責任者）養成・有事対応コース 約50時間】

2026年9月15日（火）～2026年12月15日（火）

第1クール	2026年09月15日(火)・09月16日(水)の2日間
第2クール	2026年10月02日(金)～10月06日(火)の5日間
第4クール	2026年11月18日(水)の1日
第5クール	2026年12月15日(火)の1日

・2027年6月12日（土）成果報告会・修了式

【AQSO（アドバンスト質安全責任者）養成・平時の活動コース 約50時間】

2026年9月15日（火）～2026年12月16日(水)

第1クール	2026年09月15日(火)・09月16日(水)の2日間
第2クール	2026年10月06日(火)の1日
第3クール	2026年10月27日(火)・10月28日(水)の2日間
第4クール	2026年11月18日(水)～11月20日(金)の3日間
第5クール	2026年12月16日(水)の1日

・2027年6月12日（土）成果報告会・修了式

【AQSO（アドバンスト質安全責任者）養成・問題解決コース 約50時間】

2026年9月15日（火）～2027年04月23日(金)

第1クール	2026年09月15日(火)・09月16日(水)の2日間
第2クール	2026年10月06日(火)の1日
第3クール	2026年10月27日(火)・10月30日(金)の2日間
第4クール	2026年11月18日(水)・11月20日(金)の2日間
第5クール	2026年12月17日(木)の1日
問題解決実践	2027年02月04日(木) Web 2027年02月19日(金) Web 2027年03月15日(月) Web 2027年04月23日(金) Web

・2027年6月12日（土）成果報告会・修了式

10. 研修修了要件

- ・研修の各教科目の所定の時間数のすべてに出席していること。
ただし、やむを得ない欠席の場合、担当講師と事務局の指示に従う。(課題の提出、または、次期の同科目、指定した科目の受講をもって研修修了とする等※。) ※振替授業等は有料になります。
- ・以下の要件を満たすこと。

項目	要件
問題解決実践	・ 成果報告シートの作成と提出および発表
問題解決実践以外の教科目	・ 受講前後の目標到達度評価 ・ アンケートの提出 ・ 研修前後のルーブリック評価

※場合によって、オンライン受講にて出席を認定することもある。
(現地参加でないと修了とみなすことが難しい教科目もある。)

11. 研修により付与される修了証

- ・EQSO 養成フルコース受講者
 - 1) エキスパート質安全管理責任者養成研修修了証
 - 2) 医療安全管理者養成研修修了証
- ・AQSO 養成各コース受講者
 - 1) アドバンスト質安全管理責任者養成研修修了証

12. 受講料

養成プロジェクト・コース	研修時間	受講料
EQSO 養成・フルコース	約 120 時間	60 万円 (税込)
AQSO 養成・日々の取り組みコース	約 50 時間	25 万円 (税込)
AQSO 養成・有事対応コース		
AQSO 養成・平時の活動コース		
AQSO 養成・問題解決コース		

※受講料に交通費、宿泊費は含まれません。

13. 申込方法

①事前準備



ホームページから募集要項・出願書類をダウンロード

②申込登録



ホームページから申込登録

2026年5月1日（金）10時～6月30日（火）10時

※申込登録だけでは、申し込みしたことにはなりません。

③出願書類の提出先の URL を取得



1 営業日を経過しても URL が届かない場合は、
募集要項の最終項の連絡先にご連絡ください。

④出願書類をアップロード

2026年5月1日（金）10時～7月1日（水）15時

※出願書類の提出をもって申し込みが完了となります。

① 事前準備

募集要項をホームページよりダウンロードし、内容をご確認ください。

出願書類は以下になります。

様式1～5は、ホームページよりダウンロードしてください。

- (1) 履歴書（様式1）
- (2) 受講承諾書（様式2）
- (3) 推薦状（様式3）
- (4) 志望動機と修了後の展望（様式4）
- (5) 所属医療機関の体制（様式5）
- (6) 医療の資格免許証（写 A4サイズに縮小）例：看護師免許証、薬剤師免許証など
※事務担当者の場合は、事務局にご相談ください
- (7) 医療安全管理者養成研修修了証（写）※ AQS0 応募者のみ

出願書類は、出願者本人が作成する書類、所属長が作成する書類があります。

早めに準備してください。

② 申込登録（2026年6月30日10時まで）

ホームページの申込登録より、必要事項を入力し登録を行ってください。

登録には、メールアドレスが必要になります。

※申込登録だけでは、申し込みしたことにはなりません。出願書類の提出をもって申し込みが完了となります。

③ 出願書類の提出先の URL を取得

申込登録の確認作業終了後に、事務局より出願書類の提出先の URL をお送りします。

※1 営業日を経過しても URL が届かない場合は、募集要項の最終項の連絡先にご連絡ください。

④ 出願書類をアップロード（2026 年 7 月 1 日 15 時まで）

取得した URL よりアクセスして、出願書類をアップロードしてください。

※出願書類の提出をもって申し込みが完了となります。

1 4. 選考結果の通知

書類選考の結果は 2026 年 7 月 9 日（木）までに応募者宛にメールで通知します。

応募者多数の場合は、対面もしくは Web にて面談を行うことがあります。

※やむを得ない事情により受講を辞退する場合は、通知結果に関わらず速やかに申し出てください。

※選考結果のメールが届かない場合は、2026 年 7 月 10 日（金）までに、メールでお問い合わせください。

1 5. 受講の手続き

1) 選考結果とともに受講手続き等の書類についてメールで通知します。

2) 第 1 受講手続き期間：2026 年 7 月 14 日（火）～2026 年 7 月 23 日（木）

3) 受講料は、第 1 受講手続き完了後に別途、当院経理課より送付される専用振込用紙にて、振り込みをお願いいたします。

4) 第 2 受講手続き期間：2026 年 7 月 24 日（金）～2026 年 8 月 31 日（月）

1 6. 受講前面談

受講者には、8 月下旬に受講前面談を行います。

選考結果の通知の際に日程調整をさせていただきます。

1 7. 抗体検査等結果の提出

受講者には、院内感染対策のため、当院指定の検査、必要時ワクチン接種証明の提出をお願いしています。各施設で実施している検査方法と異なる場合は指定検査を行っていただく必要があります。

選考結果通知とともに検査項目等をご案内いたしますので、詳細を必ずご確認ください。

18. 事前受講研修 対象者：【EQSO（エキスパート質安全責任者）養成・フルコース】

当カリキュラムには、チームステップス（アドバンストコース）研修があります。そのため、事前にチームステップス（導入コース）研修の受講が必要となります。

選考結果の通知の際に、当院で開催されるチームステップス（導入コース）研修の日程をご案内しますので、必ず受講してください。

既に自施設等でチームステップス（導入コース）研修を受講済みの方は、再受講の必要はありませんが、受講証明書のコピーを提出していただきます。

19. オプション研修

品質管理手法の修得（実践）の有料補講を予定しています。開講後に申し込みをご案内いたします。

【研修概要】

日 時：2027年1月16日（土）9:00-12:00

対象者：CQSO/EQSO/AQSO（問題解決コース）受講生のうち希望者、
CQSO/EQSO/AQSO 修了生のうち希望者

費 用：5000円（税込）

会 場：名古屋大学医学部附属病院 会議室等（詳細は別途連絡）

20. QSO 支援事業

EQSO/AQSO プロジェクトでは、養成事業修了後の支援事業の一つとして、取り組んだ問題解決実践のその後の経過・成果のフォロー研修を実施しています。日程は、決まり次第お知らせいたします。

・EQSO/AQSO フォロー研修会：2028年6月予定

個人情報取り扱いについて

申し込み及び受講手続きにあたって提出していただいた個人情報は、受講者選考・その後の学習支援等以外の目的で使用することはありません。

出願書類は返却しませんので、あらかじめご了承ください。

<問い合わせ先>

出願に関するお問い合わせはメールでの連絡をお願いいたします。

名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 ASUIISHI/QSO 事務局

メールアドレス：hrcjimu@med.nagoya-u.ac.jp

問い合わせ時間：月曜日から金曜日 9時～16時